

市政だより [春号]

発行所／小竹ともこ 政務調査室

こたけ 小竹ともこ

新型コロナウイルス対策を
さらに強化するよう市長に緊急要請

①札幌市が創設した「新型コロナウイルス対応支援資金」について、より中小企業の負担軽減となる融資制度に拡充すること。



今後もさらなる対策を求めてまいります！

臨時休校による
学習面への影響について質問

予算特別委員会「教育委員会」の審査で新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一斉に臨時休校となり未履修となった学習や学校再開後の対応等について質問しました。

新学期以降に指導すべき単元や題材がどの程度残っているかを整理し、その内容を確実に校内で共有し、新年度の授業の中で工夫して実施する。また概ね

内容を修了している小学校6年生についても必要なものがあれば、中学校において補足できるよう引き継ぎを徹底すると答弁がありました。

ここにも影響が！
障がいのある子どもたちの
ための放課後等デイサービス
事業所からの切実な声

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため臨時休校となった後も、原則として開所を要請された放課後等児童デイサービス事業所。

事業所の感染拡大防止措置に係るコスト増、学校休校に伴う事業所職員の休暇取得等の問題、感染の不安から通所を控える子どもへの居宅訪問支援など状況は厳しさを増しています。事業所の存続と継続性を重視すべくと指摘し、札幌市に必要な対応を求めました。



●新型コロナウイルスのご相談は
TEL.011-632-4567
(受付時間) 9:00~21:00

●感染の疑いのある方は
TEL.011-272-7119 または #7119
(受付時間) 24時間

●聴覚に障がいのある方や電話での相談が難しい方の相談窓口(厚生労働省)
FAX.03-3595-2756
メール corona-2020@mhlw.go.jp

●生活支援ガイド
新型コロナウイルス感染症に関する支援などの情報はこちら▶

皆様、こんにちは。

毎年度末にこの「市政だより」を作成しておりますが、今号は編集作業の段階で新型コロナウイルス感染症が拡大し、市民生活や経済活動への影響が日々大きくなる状況に直面し、紙面を大幅に変更してお届けすることとなりました。

この間、小中高校や特別支援学校の一斉の臨時休校、各種イベントの中止、マスクや消毒・除菌関係の品不足、デマによるトイレットペーパーの買い占め等など社会不安が増大し、世界的な感染拡大のため2020東京オリンピック・パラリンピックは1年延期が決定されました。

また緊急事態宣言～外出自粛の要請などもあり飲食、観光関連、サービス業をはじめサプライチェーンの停滞など札幌市の経済にも深刻な打撃を与えていました。

4月初めには臨時市議会が開催され、私どもが市長に要請した緊急経済対策を柱とした補正予算が提出されます。

市民の皆様の不安と負担を軽減するため医療提供体制や相談窓口の強化を図るとともに感染症に付随する様々な課題解決に行政とともに取り組んで参ります。

札幌市議会議員 小竹ともこ



総務常任委員会 委員長報告

議会活動・政務調査活動

令和2年
第1回定例議会 代表質問より

▶ 市長の政治姿勢：令和2年度の予算編成の考え方について

「アクションプラン2019」に掲げた政策目標の実現に向け、計画事業費を積極的に予算計上するとともに、喫緊の課題への対応として、プラン外の取り組みについても事業化したと答弁がありました。

我が会派からは、災害に強いまちづくりへの対応と地域経済の活性化をはかるなど必要な投資は行いつつ、将来世代に過度な負担を残さない責任ある財政運営と財政規律を堅持していくよう求めました。

▶ マンション対策について

老朽化、管理不全など札幌市の(高経年)マンションの現状と課題について、マンション管理士の方々からヒアリングを行いました。

代表質問、予算特別委員会において認識を質し、適切に維持される重要な性から「管理運営状況」や「修繕」など実態調査を行い、築年数が40年以上のマンションに対しては郵送調査ではなく直接訪問によるヒアリング調査の実施について検討したい旨の答弁がありました。



▶ 地下歩行ネットワークの拡充を要望

「札幌ドーム」「どうざんカーリングスタジアム」「つどーむ」「きたえーる」などのスポーツ施設や、道内の空の移動手段となっている丘珠空港が沿線に集積している東豊線。第二次都心まちづくり計画では「南北線すすきの駅」と「東豊線豊水すすきの駅」は検討継続区間の1つに位置づけられています。

この2つの駅間をつなぐことは、市民のみならず、札幌市の重要施策の1つである冬季オリンピック・パラリンピックも見据えると観光客の利便性向上につながり、すすきの地区のさらなる活性化となる効果が期待されます。

市民からの要望を受け、整備手法や地下構造等の課題検討も含めて提言しました。

▶ 1人1台タブレット

教育のICT(情報通信技術)化を推進するGIGAスクール構想のもと、札幌市においても2020年度から4年間で小中学校に1人1台のタブレット端末の整備を予定しています。AIやビッグデータを活用する時代の到来を見据え、子どもたちの思考力、判断力、表現力等「学ぶ力」のより一層の向上につながることを期待します。



▶ 省エネルギー対策

・・ゼッセ (ZEH) とゼブ (ZEB)

脱炭素社会の実現に向けてゼロエネルギー建築物のさらなる普及とそのための取り組みが必要。

札幌市は令和2年度から大型建築物のゼロエネルギー化に関わる設計費の補助、光熱費等の削減効果をわかりやすく示す「見える化ツール」の作成、技術習得のための施工業者への講習会の開催など普及拡大に取り組んでいきます。

小竹ともこ
プロフィール

- 札幌市立月寒小・中学校・月寒高校卒業
- 北海道武藏女子短期大学卒業(現 同窓会会长)
- STVラジオランラン号キャスター・ドライバー、旅行添乗員を経て、家業の(株)小竹金物店を継ぐ。(株)小竹建物代表。
- 平成23年札幌市議会議員に初当選。現在3期目。

詳しくはブログやホームページで▶

みなさまの声を
お聞かせください

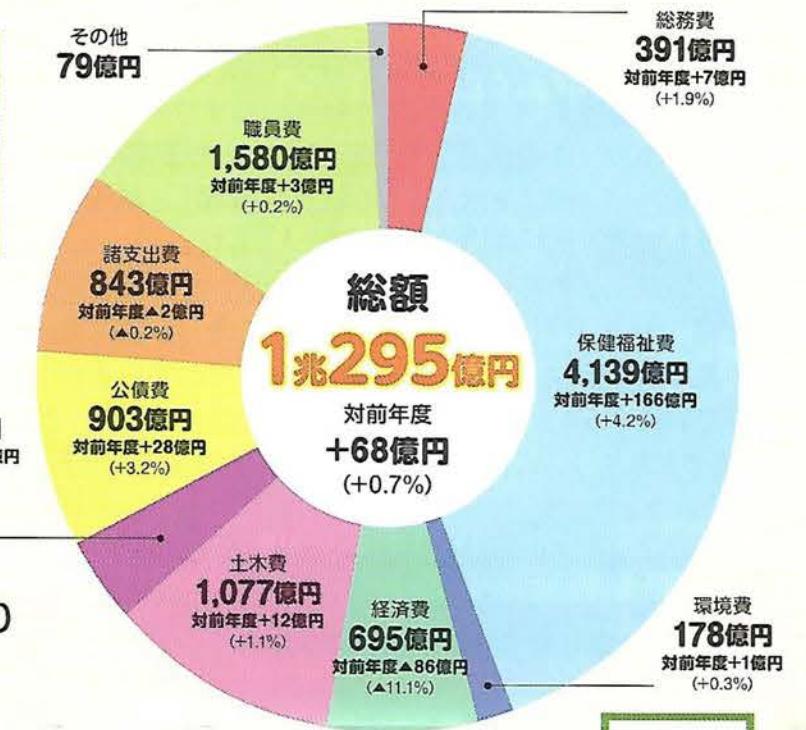
小竹ともこ 政務調査室

〒062-0020 札幌市豊平区月寒中央通6丁目3-28 2階
TEL: (011) 851-1300 FAX: (011) 851-1360
メールアドレス: city@kotakatomoko.com

令和2年度 予算のポイント

予算の柱

- 安心して暮らせるまちづくり
- 女性の活躍を応援し、
子どもが健やかに育つまちづくり
- 人材を育み成長を続ける躍動のまちづくり
- 魅力と活力にあふれるまちづくり



一般会計予算の主な概要

◆札幌ドーム活用促進費予算額	
1,600万円	
多様な規模のコンサート開催に対応し集客力の向上を図るための機能拡充に向けた改修工事の設計を実施。	
◆子どもが健やかに育つまちづくり	
●(仮称) 第二児童相談所整備	●保育の受け皿・一時預かり事業
3,200万円	55億1,700万円
●児童虐待	●赤ちゃんの耳の聞こえ支援
1億1,600万円	3,900万円
●子ども医療助成	●子どもの居場所づくり支援
38億6,400万円	280万円
助成対象に小学3年生を追加。 次年度以降小学4年生以上の順次追加	

◆復旧・防災	
●胆振東部地震による 道路施設の復旧	●災害による停電に備えての 非常用電源の整備
25億7,200万円	14億2,800万円
月寒東・美しが丘・ 里塚園隣接地区など	
札幌駅前通地下歩行空間・保健 所等の公共施設・「民間一時滞 在施設」となる市内宿泊施設	
◆除雪体制の強化	
220億3,500万円	
冬季の安心安全な道路・ 交通の確保、バス路線の 排雪強化、情報通信技術 の活用など	
◆住み慣れた地域で生活するため	
●高齢者の民間賃貸住宅への 円滑入居に関わる相談窓口運営	1,300万円
●重度訪問介護	44億500万円
●在宅医療と介護の連携に関する 相談窓口機能の強化	1,700万円

TOMOKO's レポート 地域子育て支援拠点発 「地域連携」で親子を支えるに参加しました

昨年6月に札幌市中央区で起きた虐待による2才児の痛ましい衰弱死。虐待をなくし親子を救うためには、虐待の早期発見や再発防止、関係機関の連携と並行して、**地域で孤立しがちな乳幼児親子**を、それぞれの多様なニーズに合わせて取りこぼさなく、親子の生活圏内で包括的に継続的支援を行い、虐待の発生を防ぐ**「予防的支援」**の体制を進める必要があります。



分散交流会「ひとり親支援」の
グループでヒアリング



TOMOKO's
DIARY

ともこの活動日誌

オリバラ大臣 橋本聖子参議院議員と



総務常任委員長として令和2年度出初式に出席。

札幌市消防局マスコットキャラクター「リスキュー」と。

月寒小学校旧門の復旧工事終了。「お披露目式」を行いました

胆振東部地震で損壊した月寒小学校の旧門の復旧工事が無事に終り、昨年12月「お披露目式」が行われました。

今から94年前の大正14年、当時月寒にあった「大久保レンガ工場」で製造されたレンガで建造された門です。修復された旧門を見て月寒の産業の歴史や土地柄、卒業生や地域の方々の思い、歴史や文化を後世に伝えていく意義をあらためて認識し、胸が熱くなりました。

詳しく述べは右のQRコードから
【札幌市役所予算のページ】でご確認いただけます▶



月寒から世界へ!! ボルテックス札幌通信

**女子アイスホッケークラブ
ボルテックス札幌の3選手
秋元市長を表敬訪問**

**今年も「ホワイトジャンボフェスタ」に
参加しました!**

世界の舞台で活躍した
ボルテックス札幌の3選手
秋元市長を表敬訪問

佐々木愛実選手 U18日本代表（ボルテックス札幌キャプテン）2020女子U18世界選手権 銀メダル

田邊 真希選手 第3回ユース五輪冬季競技大会 ローザンヌ大会 アイスホッケー競技団体 女子 金メダル

草間 悠羽選手 同じくローザンヌ大会 アイスホッケー競技 NOC混合3on3 銅メダル

恒例になったアイスホッケー体験コーナーでは、たくさんの子どもたちがカラーボールを使ってシユートに挑戦! ゴールの度に大きな歓声が沸いていました。

女子アイスホッケーチーム
ボルテックス札幌サポーターズクラブ会長 小竹 ともこ

TOMOKO's オピニオン

「オンライン教育のススメ」「学びを止めない未来の教室」を!

質問をしております。(本紙オモテ面1ページ)
予見できない震災や台風被害、今回のような新たな感染症の蔓延などで学校を休業せざるを得ない緊急事態においても、安心な環境で、途切れることなく子どもたちの教育機会を確保するために、オンライン教育の充実とその環境整備を進めていくべきと考えます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため措置された一斉の臨時休校は結果的に長期化してしまいました。学年によっては学ぶべき学習内容を殆ど終えていた3学期末だったとは言え「未履修の単元」や「学習の遅れ」について私の元へも心配する多くの保護者の方々から声が寄せられ、特別委員会ではこの件について

家庭で授業を